

事業の基礎情報

実施主体	佐賀県多久市
事業実施地域	多久市内
共創の類型	官民共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 教育・スポーツ
共創パートナー	昭和自動車株式会社、多久市地域公共交通会議、社会福祉法人 多久市社会福祉協議会、多久スポーツピア、株式会社 アイシン
運行形態	乗合タクシー・AIオンデマンド交通
運行主体	株式会社 昭和自動車

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

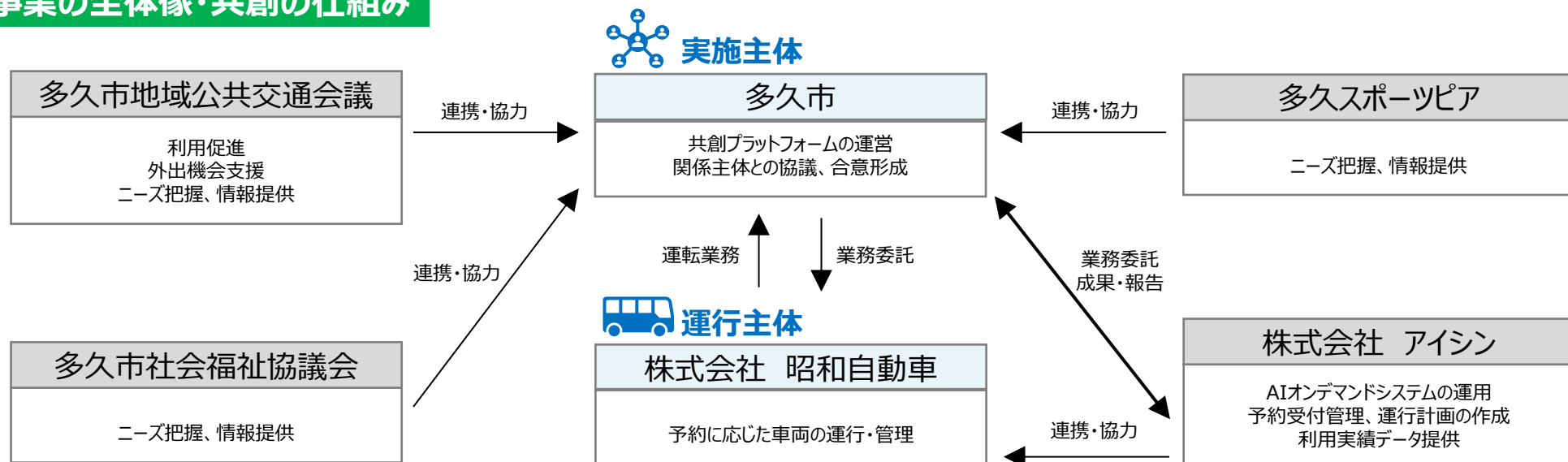
本市では、令和7年度から新公立病院の移転開院を予定しており、喫緊の課題として、移転に伴う移動手段を確保する必要がある。併せて、現在のコミュニティバスの定時定路線では、人口減少や分散している集落間の移動において、収益性や利便性の面で検討の余地がある。その他に、核家族化による高齢者の日常品の買い物や子どもの習い事等の送迎に課題が出てきている。

利便性と地域公共交通の継続性の向上を目的に、交通体系の再編を検討し、AIオンデマンド型交通システムの導入を図る。

（事業の概要）

上記の事業目的を達成するため、運行事業者や各種団体と連携・協働し、現在のコミュニティバス、デマンドタクシーのあり方やAIオンデマンド型の交通の導入を検討し、最適な乗合せと経路計画による乗合送迎であるAIオンデマンド事業の実証運行を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

現状の交通ニーズを各種団体との連携・協働により把握する。収集したデータやヒアリング等に基づき、現在のコミュニティバス、デマンドタクシーのあり方やAIオンデマンド型の交通の導入を検討し、最適な交通体系構築を目指す。

(実証事業により見込まれる効果)

将来にわたって継続的に運営するという課題に対して、本事業によって最適な交通体系の在り方を検討することができ、公共交通の持続可能性が高まる。「行きたい時間に行きたい場所」への移動を可能にするAIオンデマンドを実証運行にあたっての専門的な知見の習得や関係者との連携・協調を図ることができ、地域公共交通の充実を図ることができる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

【需要調査】

● 現況調査

- ・自治体の基本情報、公共交通機関の状況等を集約

● 移動データの収集

- ・現状の公共交通機関の利用状況を調査（乗降者数等）
- ・住民の方々の移動データを収集し、分析
- ・バス停等アンケート調査

● アンケートデータ等の分析

- ・公共交通に対する住民の評価・需要の把握

【実証運行】

- ・市内全域において、「AIオンデマンド」の実証に取り組む。

	調査	実証運行
5-7月	移動データの収集 アンケート・ヒアリングの実施 調査結果の分析	
8-11月		運行詳細の検討 周知・広報
12-2月		実証運行・周知広報
2月		効果検証 実績報告

(補助事業実施後の予定)

実証運行で認識した課題に的確に対応し、地域公共交通の充実を図る。事業実施後も積極的な制度周知を行い、特に高齢者の利用促進に関しては高齢者が集うイベント等に出向くなど、利用者を増やすことで運賃収入を確保する。

また、市内事業者「エリアスポンサー」となっていただき協賛を得ることで、採算性を向上させる。